【技術科のグランドデザイン】

何ができるようになるか 〇各教科等で育成する資質・能力	何が身に付いたか 〇各教科等の学習評価
・生活や社会で利用されている材料、加工や生物育成などについての基礎的な知識技能 ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決する力 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会を意識し、工夫しながら創造しようとする態度	・材料、加工、生物育成、情報に関する基礎的な理解、それらに関わる技能を身に付けようとしている。 ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会を意識し、工夫しながら創造しようとしている。

子供たちの実態	子供たちの発達をどのように支援するか 〇配慮を必要とする子供への指導	目指す子供たちの姿
・手を動かすことには意欲的であり、自ら高い水準を目指して努力を続けることができるが、技能の習得には差がみられる。加えて、自身の生活と技術との関わりに気づくことができない生徒が多い。	・技能面に課題がみられる生徒に対する支援を行う。 ・ICT 機器の活用など、個々の進度に応じた視覚的な教材を取り入れる。	・習得した知識、技能を生かし、課題の設定・解決を繰り返すことで、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、主体的に行動できる生徒

何を学ぶか 〇各教科等の教育課程の編成	どのように学ぶか 〇各教科等の授業の実施
・課題を設定し、解決する過程を遂行すること。 ・生活と技術のかかわりについて理解すること。	・解決の過程の中で、必要となる知識・技能の水準を高めていく。 ・ICT 機器の活用により、製作物について発表する。

実施するために何が必要か　〇指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働
・他教科の教員との連携を通して、知識・技能の習得に向けて効果的な指導をめざす。 ・ICT 機器を活用する。 ・実習に取り組む中で、その課題を解決するため知識・技能の習得に主体的に取り組むよう工夫する。
各教科等の特質に応じた「見方・考え方」
ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して習得した基礎的な知識・技能を生かし、よりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすること